



防災ネットワーク



日頃からあいさつを交わしましょう。

災害時には、近隣の住民同士の協力が必要です。

避難生活をスムーズにするためにも、日頃からあいさつを交わしたり、町内会主催の防火防災訓練などに参加することで、ご近所との付き合いの輪を広げておきましょう。



要配慮者について

高齢者や障害者、難病患者、乳幼児、妊産婦、外国人などは、情報把握、避難などが迅速にできない立場にいます。

常日頃から近所のような配慮者を知るとともに、災害時には、民生委員など町内会の人と協力して よう配慮者を支援しましょう。